

防災教育チャレンジプラン 最終報告会

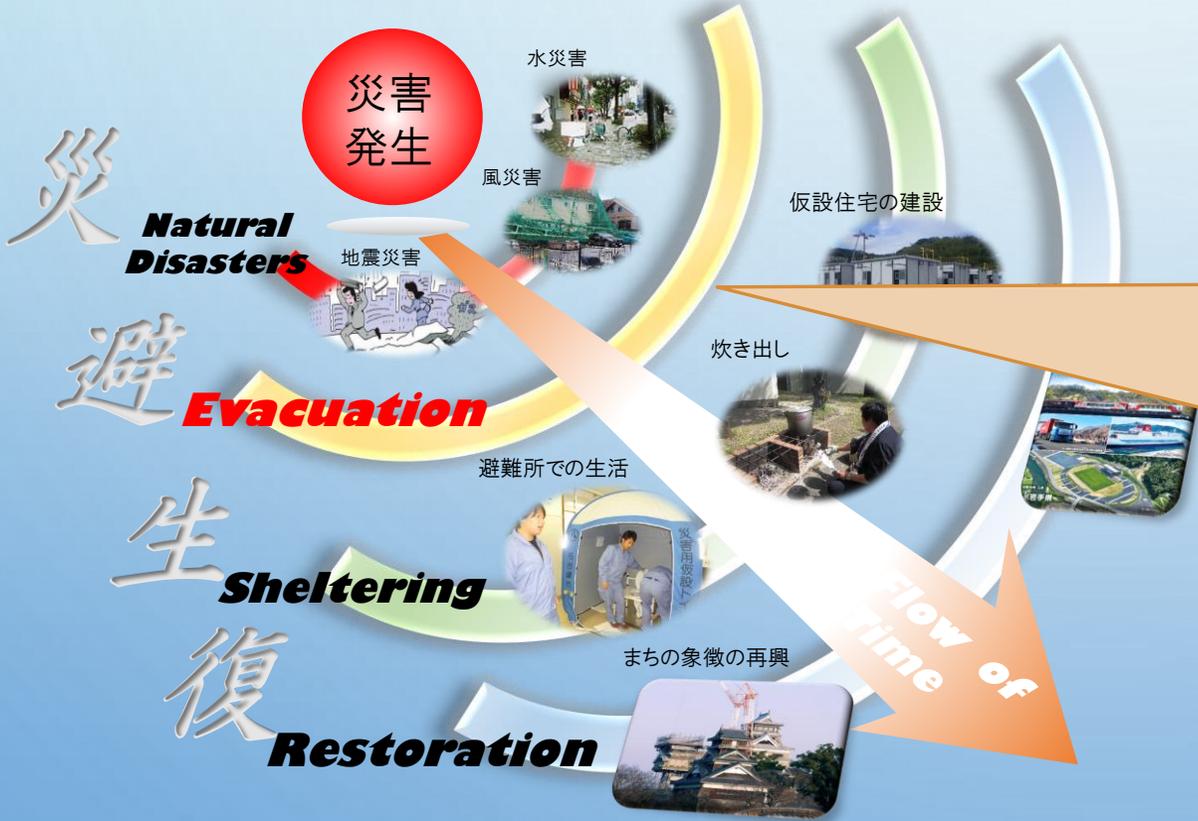
実践団体番号：㊦

名古屋市立工芸高等学校都市システム科／防災チーム

2021年
今年の
テーマ

防災について考え、行動できる人の輪づくり

～住民の、住民による、住民のための防災訓練～
の支援



工芸高校都市システム科の
防災活動は、
ココ！！
をやっています

2019年
の
テーマ

“希望のひかり”

～届けたい。私たちの力で。安心できる
「ひかり」を～

🔒 停電被害の調査や、ブラックアウトに関する啓発活動、避難誘導方法の検討

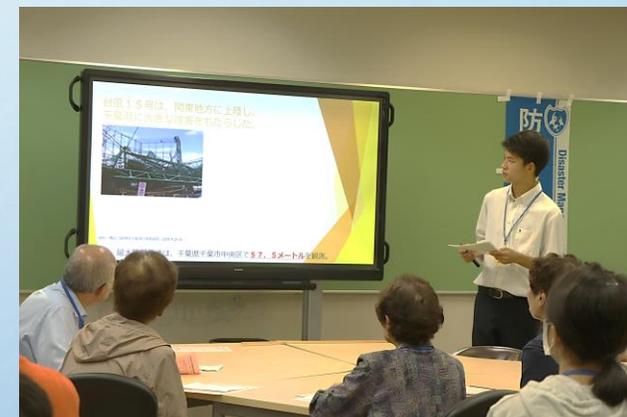


2020年
の
テーマ

“いのち”をつなぐ戦い

～EAVACUATIONの一般化が大切な人のいのちを
繋ぐ～

🔒 浸水被害の危険性、疑似体験方法の検討、啓発ツールの開発



2021年
今年の
テーマ

防災について考え、行動できる人の輪づくり
～住民の、住民による、住民のための防災訓練～の支援

大切にしたいことは、

「ひとり、ひとりが主人公になること」を

常に考えながら活動したこと

災害が起こったとき、生命を守るのは

「ひとり、ひとり」

大切なひとの命を守り、繋ぐためにも、

作るもの、考えるものが、

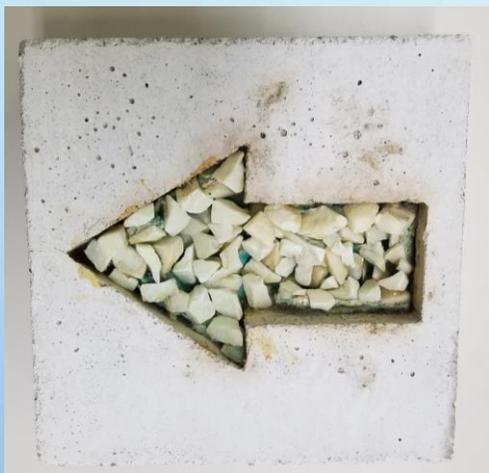
みんなに受け入れられるものにする。

その答えが 「ひとり、ひとりが主人公」 でした。

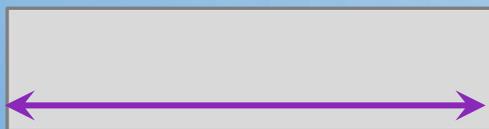


⊖ ブラックアウト避難誘導方法の確立

写真で見る、コンクリートブロックの実用化 に向けての変遷 ⌚



B=H=200mm



当初設計(四角形)

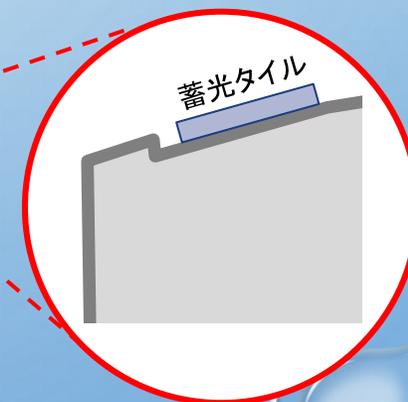
D=100mm



設計変更(1)



設計変更(2)・完成品



実際に、小学生に体験してもらったり、学校内で工事して据え付けたり、完成まで漕ぎ着けることができました！



小学生の製作体験の様子



コア削孔後に掘削



ハンマーで締固め



据付後、モルタルで固定
舗装復旧

昼間の様子



夜間の様子



㊦ 浸水害擬似体験装置の実用化

浸水害擬似体験装置の改良を行い、展示会への出展も行いました。



擬似体験装置の水路底面の仕掛け

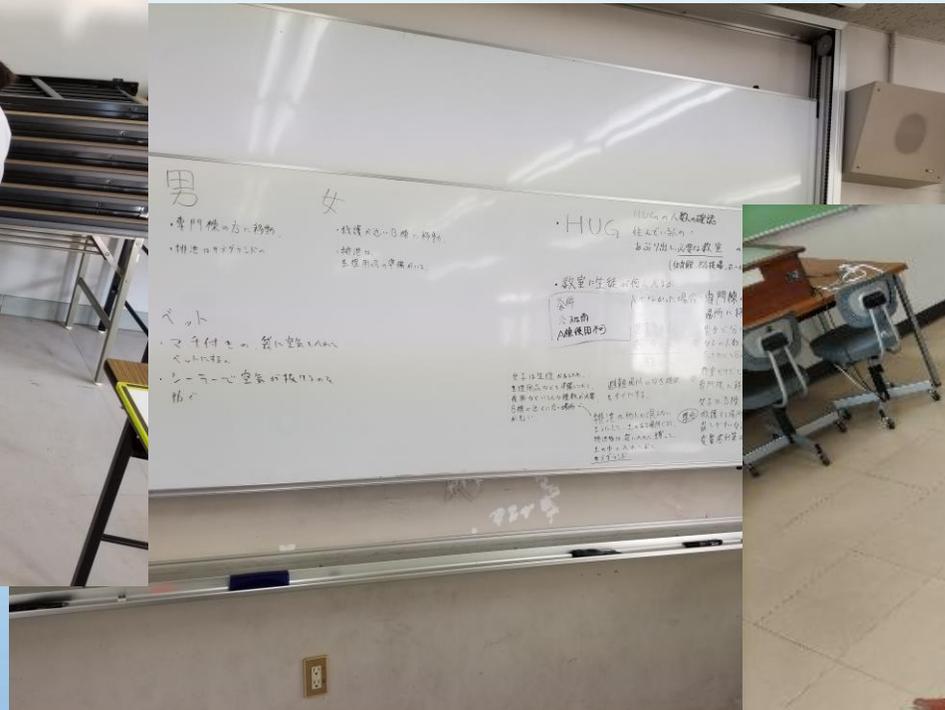


⊛ ファーストミッションボックスの製作検討

工芸版“FIRST MISSION BOX”をつくるための検討を行いました。 次年度も頑張ります！！



避難所運営ゲームの様子



課題の抽出・整理状況



簡易ベッドの製作

④ そのほかの活動

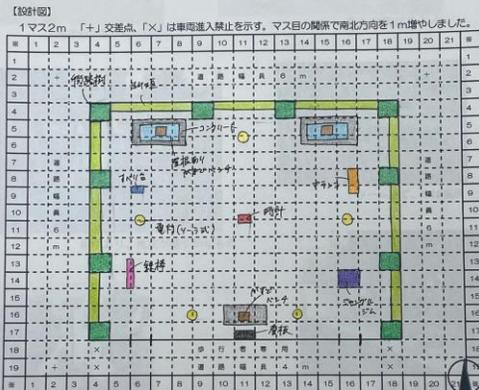
防災公園の設計

防災活動の成果の公表



都市システム科3年 土木基礎力学/土木施工 最終課題 ～防災公園の設計～
都市システム科3年 番号(〇〇) 氏名(齋藤 大希)

1 自分たちで考えた基本方針や趣向案、さらには発表会での先生方の意見を基にして施設配案を作成してください。用紙はA4で印刷してください。
この課題は、出校後の2月4日(金)夕方4時までにお持ち出してください。印刷できない場合は、レイアウト案等をノートなどに作成し、出校後に用紙を亀田から受け取った上で作成してください。



【設計者の公園設計に対する思い】
この公園の設計は、防災公園として、防災だけでなく、地域の活性化や、住民の健康増進にも貢献することを目的としています。また、防災公園として、防災だけでなく、地域の活性化や、住民の健康増進にも貢献することを目的としています。また、防災公園として、防災だけでなく、地域の活性化や、住民の健康増進にも貢献することを目的としています。

<注意>
公園設計にあたり、具体的に配置したい施設の号典等があれば裏面に添付するようにしてください。



啓発・広報活動には特に力を入れました！ コロナだからこそ、勇気を持って発信！

<生徒発表分>

- 「SDGS AICHI EXPO 2021」での出展（10月）
- 「名古屋市立大学サステナビリティシンポジウム」での発表（11月）
- 「第16回持続可能な明日を目指すシンポジウム ～いのちつながる街づくり担い手づくり～ SDGS実践報告会」での発表（12月）
- 「令和3年度全国中学生・高校生防災会議」への参加（11月～12月）
- 「建設技術フェア2021IN中部」への出展（12月）



<教員発表分>

- 「工業教育（2021年11月号）～特集 自然災害と防災教育」の掲載（11月）
- 「ESD FOR 2030 AICHIプロジェクト（文部科学省補助事業）」の成果報告会での発表（2022年2月予定）



それでは、座談会へ